

犬猫の年を人間に換算すると…

あんしんペットライフ®

犬や猫がどのようなスピードで年を取っていくのかご存じでしょうか。

小型犬や猫の場合、1歳半が人の成人の「20歳」に相当するといわれています。その後は、1年間で4歳ほど年を取ると考えられ、犬猫の6歳を人に換算すると「40歳」、11歳は還暦の「60歳」に当たります。

大型犬は小型犬よりも成長が遅く、2歳頃に人の成人の「20歳」を迎えます。その後は小型犬よりも老化が速く、大型犬の5歳は人の「44歳」、8歳が還暦の「60歳」に相当するといわれます。

人間の場合、学生ときは学校健診、就職すると企業健

診などがあります。また、病気の早期発見のために、30歳からは年に1回の定期健康診断を受けたほうが良いといわれています。

「30歳」という年齢は、犬猫では4歳前後に当たります。4歳前後の犬猫は、まだまだ活発に遊び、病気とは無縁に感じられるかもしれません。しかし、人の年齢に置き換えると、年に1回の定期健康診断を受け始めたほうが良い年齢です。

本格的な老化や大きな病気が見つかるのは、もっと高齢になってからかもしれません。

ん。しかし、健康な状態を知っていればこそ、早期に異変を察知して、病気を防ぐことができるのです。

犬猫は私たちよりもずっと速く成長し、速いスピードで老化します。「まだまだ若いから大丈夫」と思っている間にシニア期を迎えている可能性があります。

早期から健康診断を受けさせることで、少しでも長く一緒に暮らしていけるようにしましょう。

(アニコム損保
獣医師 山田恵理子)